

### 村田 歳入の確保と歳出の適正化が必要

#### 大きな視点であり重大な責務と認識

市長

**問** 中期財政計画は、普通会計に止まらず、特別会計等への繰出金も含めた視点が必要である。

**市長** この計画は、向こう

3年間の普通会計ベースであり、全体の見直しは重要な課題である。

遊休土地の処分、企業誘致のさらなる推進を図りたい。

総合振興計画の着実な推進を基本に進めたい。



丹政会 村田 正夫 議員

#### 介護保険事業 第5期の対応は

**問** 高齢者福祉計画と介護保険事業計画の連携が必要である。高齢化と認定者数の増加を踏まえ、次期の介護保険料の見直しは、待機者の解消、在宅支援

の拡充、介護職員の人材確保が必要ではないか。

**市長** 福祉、保健、医療の幅広い視点で構築したい。保険料は、数百円上昇せざるを得ない。それぞれの課題は、幅広い連携と協力で進めていきたい。

**問** 市の社会体育振興指針

を確立すべきである。

体育施設の体協への指定管理、総合型地域スポーツクラブへの支援を求める。

**教育長** 社会体育指針のあり方から検討したい。指定管理は現状を見直し、総合型には積極的に対応したい。

**問** 市の社会体育振興指針



総合型地域スポーツクラブの活動

松尾

### 市民の満足度を高める施策を求める

市長

#### さまざまな観点から新たな施策の構築を

**問** 市長は20年後のまちを見つめて市政の運営を進める必要があるが、混迷する国政同様に、本市の将来に向けた具体的な施策が示せない状態

況に憂いている。本市に魅力を感じて移り住む人を増やすためには、市民の満足度を高める効果的な施策の充実が不可欠と考える。

総合振興計画の着実な実行というような抽象的な表現ではなく、まちのどの部分をどのようにするの



松尾 武治 議員

か。今任期中にどのような施策を行うのか、中心市街地の整備でまちをどのような姿にするのか。併せて、職員数の削減が求められるが、主権者である市民の利便性・効率性などの条件を加味した市役所組織などの見解は。

**市長** 総合振興計画の着実な推進が私に課せられた使命であると考える。それぞれの施策は、市民に明示する中での着実な進行こそがまちづくりの基本と考える。

職員適正化計画により職員数の抑制に努めている

が、嘱託職員・臨時職員は増加している。  
**問** 市政懇談会に配布された資料によると、無策な市の様子を示された。  
市民の心に響く、一歩踏み込んだ施策を具体的に示し、次年度予算に反映する気合を求める。  
**市長** 総合振興計画を着実に実行していくことが基本で、実施計画等を精査し予算施策に盛り込んでいく。



市政懇談会

仲

### 八木駅の改修・バリアフリー化を

市長

#### 駅が危険であるという資料を

**問** 八木駅の早期改修・バリアフリー化は、八木駅利用者切実な願いである。市政懇談会でも要望が出され、カープホームによる車両とホームの隙間の危険性の指摘もあった。

いるが、具体的にどの計画で進めるのか。

**市長** 駅が危険だという明確な資料の提出をお願いしたい。駅はJRの所有物であり、調査結果をもとに検討していただき協議する。

#### 中学校給食の実施時期を明確に

**問** 「中学校給食の早期実施を求める」署名が約3000筆集められるほど要望が強いが、京丹波町のように実施時期を明確にすべきでは。

**教育長** 中学校での理解を深めていくことが何よりも大切で、課題をクリアする検討を重ねたい。具体的な方向性については、年度内に明確にしたい。

#### 発達支援センターの今後は

**問** センター事業の検証と

見直し、あり方の検討をすべきでは。日中一時支援事業の委託先を公募する考えは。  
**市長** 23年度事業の方向付けとしては、課題、効果など検証する中で、運営委員会等の協議を踏まえ、選定について検討する。



八木駅のホーム



南広瀬の生活道路

川勝

### 府、市の安全と説明対応は

市長

#### 交通安全の確保に努力

**問** 国道477号西田大数道路は南広瀬と西田区内の工事が進んでいない。

そのため子どもや老人が歩く南広瀬の狭い生活道路に車が

多く通行しているが、市の安全対策は。

西田地区の地権者に説明が府・市から何もない。

**市長** 地元周辺の皆さんの意見を踏まえ、交通安全の確保に努力していく。

**部長** 指摘のとおり地元関係者と連絡調整を府と一緒

に進めていく。

#### デマンドバス・タクシートの実施は

**問** バス交通が必要な交通弱者が多い。八木町にいつデマンドバス・タクシーは実施されるのか。

**市長** 公共交通の利用が不



丹政会 川勝 眞一 議員

便な集落に22年6月、タクシー・バス事業者との協議を実施し、運輸局の許可等の手続きを得て、来年度以降2年間に分けて実証実験を行い、早い時期に全市を対象に本格実施を行う。

**人口の急減対策は**

**問** 経験したこのない人口の急減などは地域経済の衰退・自治体財政破綻の危機に直面する。環境づくり、地域づくり、意識づくりの施策で地域経済の建て直しと人口増加対策は。  
**市長** この4年間に1600人も人口が減少した。今後の産業振興、企業誘致、雇用の確保や子どもが産み育てられる環境の整備、地域・街の活性化を考え、施策を生かしていく。